

大潟区地域協議会だより

第61号

発行日:令和7年12月25日 発行者:大潟区地域協議会 会報編集委員会
事務局:大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ(電話 025-534-2111)



上越市Web
活動状況
へのリンク

特集 「自主的な審議」への取り組み

「魅力的で暮らしやすい大潟」になっているだろうか? 地域協議会では2つのグループに分かれ
て自主的な審議を行い、「現状と課題、理想的な姿、取り組みの方向性、具体的な方策」を検討中です。
現在、地域の皆様からアンケートにご協力いただいて調査を進めています。12月からは調査結果を
まとめて、取り組みの方向性を決めていきます。今後もご支援くださいますようお願い申し上げます。

その1 大潟区の「地域の魅力の 向上」について、アンケートを実施

◆委員8名で活動中です。

大潟の魅力の向上をめざすため、11月に対象を限定してアンケート調査を実施しました。

◆調査は2通りの方法で実施(インターネット上の回答、回答用紙での回答)。対象として潟町3区在住者、上小船津浜在住者、大潟町小学校5年生にお願いしました。小学校では地域協議会の委員2名が教室で説明して、インターネット上の回答をいただきました。

◆12月からは委員が手分けをして、紙の回答の集計を行っていきます。その後はアンケートをもとに区内の団体の皆様などと意見交換を行い、県内外への情報発信により、一層の集客を目指していきたいと考えています。



グループでの協議を踏まえて、全員で情報を共有

その2 まちづくりについて、まずは 「外出手段の困りごとなど」を調査

◆委員5名で活動中です。

今年度は「外出手段の困りごとなど」を調査して、課題解決の方策を検討しています。

◆アンケート調査は11月から令和8年1月にかけて次の皆様にご協力をお願いしています。

- ①大潟町小学校・中学校在校生の保護者の皆様
- ②大潟区のいきいきサロンをご利用の皆様
- ③大潟区町内会の隣組長の皆様

◆調査ではご本人や周囲の方に関して、外出手段の困りごとなどをお聞きします。

※運転免許を持たない方、送迎がたいへんな方、免許返納で悩んでいる方などがいらっしゃいます。

◆これからも率直なご意見をお聞かせください。



「いきいきサロン」でアンケート調査とインタビューを実施

「人魚館の利用時間と休館日変更」 条例改正に係る諮詢と答申

◆経緯：本件は9月の地域協議会で観光振興課から事前説明を受け、委員の勉強会を10月1日（水）に開催し、答申に至るまで様々な検討を行いました。

◆諮詢：10月10日（金）に上越市長から地域協議会に「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利用時間及び休館日の変更について」諮詢がありました。

概要は次のとおりです。

1 改正理由

- (1) 現行条例と実態の乖離
- (2) 物価が大幅に上昇
- (3) 人材確保が困難

2 改正内容（以下には改正（案）のみ記載）

- (1) 休館日：①水曜日、②12月31日及び
翌年1月1日
- (2) 利用時間：

浴室、トレーニング室、大広間、和室

11月1日から翌年3月31日まで午前10時から午後8時まで

4月1日から10月31日まで午前10時から午後9時まで

プール

平日：午後1時から午後6時まで

土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日：午前10時から午後6時まで

食堂

午前11時から午後2時まで及び午後5時から午後8時まで

※ 補足説明：条例では「市長が認める場合はこの限りではない。」との条文があり、指定管理者が市長の承認を得て利用者の便宜を図ることができる。

◆答申：10月16日（木）の地域協議会で観光振興課からの説明を受け、質疑応答と審議の結果「地域住民の生活に支障はないものと認める」と答申することに決定し、10月23日付で市長に答申しました。

板倉区への視察研修 参加委員7名からの所感

◆委員7名が12月14日（日）に開催された板倉区の「地区まち交流会」に視察で訪問しました。

◆主な内容：① 地区まちワークショップ in 板倉区成果発表 ② 定住支援コーディネーター活動報告

◆視察研修の目的：委員が交流会の発表や活動紹介を見聞して、参加者と意見交換したり、まちづくりを考えること。大潟区での活動の参考とすること。

◆各委員からの所感をお伝えします。

天野委員

6つのチームで多くの角度から意見が出せる「場」→大潟でも住民参加の場を作れたらと思います。

金澤委員

各チームの課題への取り組みが素晴らしい。成果発表の仕方が各々異なり、大変参考になった。

小山委員

取り組みが他人事ではなく自分事であり、真剣さが感じられた。周りを巻き込みながらの活動に感動した。

佐藤委員

発表メンバーの感想が新鮮で良かった。住民が生き生きと報告した姿は頼もしい限りだった。

新保委員

地区まちワークショップ成果発表を聞いて、板倉区の皆さんのがやるぞという心意気を感じました。

俵木副会長

内容に期待して参加した。参考にすべき箇所もあり、今後勉強していきたい。定住支援コーディネーターお二人の取り組みには感動のみです。

土屋会長

私は板倉の年間プログラムを4回視察しました。メンバーの熱意と各回の進行が心に残っています。



約120名が参加（谷浜・桑取区地域協議会の委員も同席）

大潟工業団地の整備に関する進捗状況について(報告)

◆令和7年10月の地域協議会で、大潟区総合事務所の小池所長から報告をいただきました。

＜要旨＞大潟区工業団地の整備事業の所管は産業立地課であるが、私から同課に代わり状況を報告する。

先般、地権者全員から土地取得について合意をいただき仮契約を締結。上越市議会9月定例会で土地取得契約の議決をいただいた。この議会の議決により仮契約がそのまま本契約に移行されている。

今後、土地所有権移転登記や文化財の試掘調査を進めながら整備手法や実際に造成する事業者を決定する。令和8年4月以降に造成工事に着手し、令和9年4月に分譲を開始するべく産業立地課では準備を進めている。当初の計画より約1年の遅れはあるが、事業自体は動き出して順調に進められている。この工業団地には地元企業を中心に複数の業者から進出したいとの話をいただいている。

◆参考資料:上越市のWebに資料が掲載されています(上越市議会9月定例会での資料)。

<https://www.city.joetsu.niigata.jp/uploaded/attachment/273284.pdf>

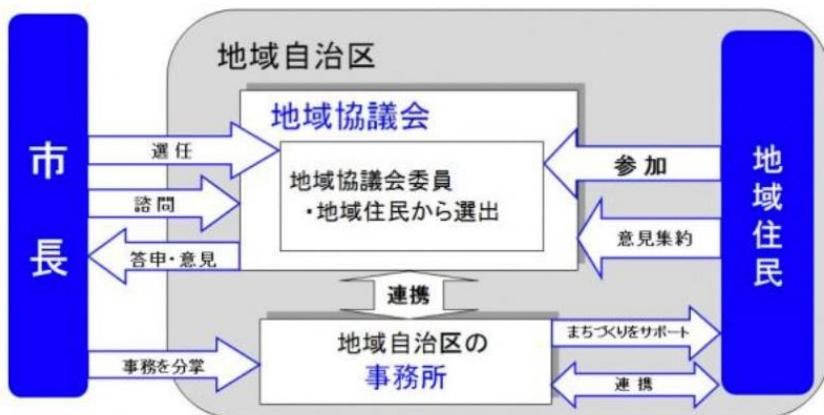
「地域協議会の使命について」会長として考えていること

「課題解決の提案組織であること」

会長 土屋郁夫

◆地域協議会の概要

地域協議会は「上越市自治基本条例」、「上越市地域自治区の設置に関する条例」、「上越市地域協議会委員の選任に関する条例」の中に規定があります。地域自治区のイメージは次の図のとおりです。



出典 <https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/jichi-chiiki/jitiku-sikumi.html>

◆私が考えている地域協議会の使命は「課題解決の提案組織であること」です。

現在は自主的な審議において「地域住民の意見を集めるしくみを作る → 意見を集め、精査して真の課題を発見する → 課題解決の提案をする」という手順に沿って活動中です。

地域の皆様の笑顔が増え、元気が湧いてくるような提案ができるよう努めてまいります。

地域協議会の開催状況（令和7年度）

第4回	7月17日(木)	① 大潟区の「地域の魅力の向上」及び「まちづくり」について
第5回	8月21日(木)	① 大潟区の「地域の魅力の向上」及び「まちづくり」について
第6回	9月18日(木)	① 上越市大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館条例改正の事前説明について ② 大潟区の「地域の魅力の向上」及び「まちづくり」について
第7回	10月16日(木)	① 大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利用時間及び休館日の変更について（質問） ② 公の施設の使用料等の見直しについて ③ 大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利用料金の変更について ④ 大潟区の「地域の魅力の向上」及び「まちづくり」について
第8回	11月20日(木)	① 「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利用時間及び休館日の変更について」の答申に対する回答について ② 観察研修について ③ 大潟区の「地域の魅力の向上」及び「まちづくり」について ④ 大潟区のフォーラム開催について

視察・勉強会・研修会などの開催状況（令和7年度）

10月1日(水)	第1回大潟区地域協議会勉強会（テーマ：鵜の浜人魚館条例改正について）
12月14日(日)	大潟区地域協議会視察研修（板倉区で開催された「地区まち交流会」を視察）

～今後の予定など～

◆大潟区地域協議会は第3木曜日の19時から定例会を開催しています。場所は大潟コミュニティプラザの2階です。お気軽に傍聴にお越しください。

予定：1月15日(木)、2月19日(木)、3月19日(木)

◆地域協議会や地域自治についてのご意見などもお寄せください。事務局は大潟区総合事務所の総務・地域振興グループです。

編集後記

- ◆備蓄米、ダムの貯水率、初の女性総理、インフルエンザの流行。1年を振り返るとキーワードがいくつも出てきます。持続可能な社会というキーワードも耳にすることが増えました。
- ◆かっぱ祭りも来年は持続可能な形で開催すると聞いています。来年の振り返りは「かっぱ祭りで楽しい1年だったね」となると嬉しいです。（竹田 未貴）

編集委員：押見 吉弘・竹田 未貴・土屋 郁夫・柳澤 嘉孝